

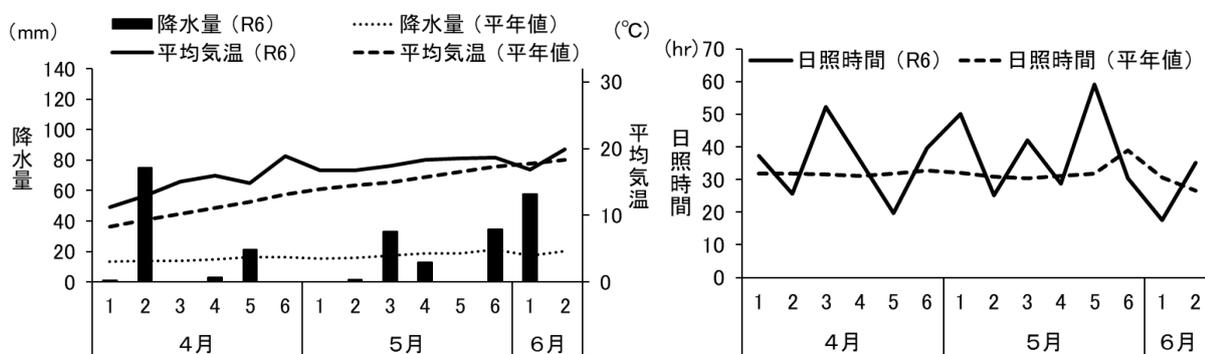
# 仙台稲作情報 2024 (第2号)

宮城県仙台農業改良普及センター TEL: 022-275-8410 FAX: 022-275-0296  
<http://www.pref.miyagi.jp/sd-nokai> E-mail: sdnokai@pref.miyagi.lg.jp

## ○栽培管理のポイント

- ▷適正な水管理で分けつの発生を促進させましょう。
- ▷雑草の発生状況を確認し、防除が遅れないようにしましょう。
- ▷いもち病の発生源となる補植用残苗は速やかに処分しましょう。

### 1 気象経過 (仙台 令和6年4月第1半旬～6月第2半旬)



- ・4月から5月にかけて平均気温はかなり高く推移し、特に4月は県内全観測所で観測史上最も高い平均気温となりました。
- ・6月に入ってから平均気温は平年より高い傾向で推移しています。

### 2 管内の播種及び田植状況

#### (1) 播種状況

播種盛期は前年より1日早い4月11日でした。期間中気温が高い日があり、苗の伸長が早かったほか、一部でばか苗病の発生がみられました。

#### (2) 田植状況

田植盛期は前年より1日早い5月11日でした。

表1 管内の播種及び田植状況

管内全体	播種状況			田植状況		
	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
本年	4/2	4/11	4/20	5/3	5/11	5/22
前年差	1日早い	1日早い	3日早い	前年並	1日早い	3日早い

※「始期」は作付見込み面積の5%、「盛期」は50%、「終期」は95%が進行した時期

### 3 管内の生育状況

- ・「ひとめぼれ」では、管内平均で草丈が31.6 cm (前年比109%、平年比112%) で平年よりやや高く、莖数が175.7本/m<sup>2</sup> (前年比79%、平年比79%) で平年より少ない状況となっています。葉色は38.7 (前年差-1.7、平年差-0.3) でほぼ平年並で経過しています。田

植日が遅いほ場では茎数が少ない傾向がみられましたが、今後分げつが進み、茎数の増加が見込まれます。茎数が少ないほ場では、下記の水管理を参考に分げつの促進に努めてください。

表2 6月10日生育調査結果（管内）

品種	地帯	場所	田植日	草丈 (cm)			茎数 (本/m <sup>2</sup> )			葉色値 (GM値)		
				本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	仙台湾沿岸	仙台市宮城野区	5/16	37.6	120	130	64.9	62	48	35.7	-1.6	+0.5
	北部平坦	大郷町鶉崎	5/7	26.4	107	104	236.2	84	113	41.8	-0.7	+1.6
	西部丘陵	仙台市泉区	5/15	30.7	99	101	226.1	80	69	38.7	-2.8	-2.9
	管内平均			31.6	109	112	175.7	79	79	38.7	-1.7	-0.3
ササニシキ	仙台湾沿岸	仙台市若林区	5/21	29.7	103	103	125.6	107	79	34.8	-1.4	-2.4
金のいぶき	仙台湾沿岸	仙台市若林区	5/7	31.6	110	-	177.7	86	-	40.5	+2.9	-

※平年比の計算は、直近3か年の平均値を使用。仙台市若林区「金のいぶき」は、平年値なし。

表3 品種別生育調査結果（県内）

品種	草丈 (cm)			茎数 (本/m <sup>2</sup> )			葉色値 (GM値)		
	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	27.8	105	102	164	85	86	38.4	±0.0	+0.7
ササニシキ	27.3	105	102	159	92	67	35.3	-0.8	-1.3
つや姫	30.0	108	110	200	103	133	37.6	-0.9	+1.6

※県内 32 地点（ひとめぼれ 18 地点、ササニシキ 6 地点、つや姫 8 地点 古川農業試験場の作況試験ほ 3 地点、仙台 4 地点含む）の平均値

## 4 本田管理

### 移植栽培

#### (1) 水管理

- ・分げつの発生を促進させるために低温時以外は2～3cmの浅水として水温・地温の上昇を図りましょう。
- ・「だて正夢」、「金のいぶき」は、茎数が確保しにくい品種です。適正な水管理で分げつを促進させましょう。
- ・低温（平均気温が概ね14℃以下）の時は、水深5～6cmの深水としましょう。
- ・自然落水したまま田面が露出しているほ場が散見されます。こまめに見回りして適切に水管理をしましょう。
- ・生わらなど有機物を施用したほ場では、時々落水して土中への酸素供給とガス抜きを行い、根腐れを防止しましょう。

#### (2) 病虫害防除

##### ①いもち病

- ・ほ場に補植用残苗が散見されます。本田でのいもち病の発生源になりますので、裏返すなどして直ちに処分しましょう。
- ・箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、6月中下旬に水面施用剤を散布しましょう。
- ・「金のいぶき」はいもち病に非常に弱い品種なので、箱施用剤に加え水面施用剤または茎葉散布剤による2回防除を実施しましょう。

- ・「BLASTAM (ブラスタム)」が病害虫防除所のサイトで公開されていますのでご活用ください。 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>

### 【BLASTAM (ブラスタム) とは】

アメダスデータを基に葉いもち感染好適日を推定するシステムモデルです。いもち病の胞子が発芽、感染するためには次の条件が必要です。

1. 葉面湿潤時間が 10 時間以上
2. 葉面湿潤時間中の平均気温が 15℃～25℃
3. 前 5 日間の平均気温が 20℃～25℃

これら 3 つの条件が全て満たされると、いもち病の感染に好適な条件となります。感染好適条件が連続し県内広域で出現した場合、約 2 週間後に葉いもちの発病の増加が始まります。**水田を見回り発生に注意してください。**

### (3) 雑草防除

- ・残草がある場合、雑草の種類、除草剤の散布期限（ノビエの葉齢や収穫前日数）を確認し、中・後期剤の使用を検討しましょう。
- ・水田内にヒエやホタルイ類の雑草が目立つほ場があります。これらの雑草は稲の出穂前に斑点米カメムシ類を水田に呼び寄せるので、雑草の葉齢を確認して適切な剤を散布し、雑草が出穂する前の 7 月上旬までに防除しましょう。
- ・斑点米カメムシ類の発生を抑制するため、7 月中旬までにほ場周辺の休耕田や土手・畦畔等の除草に努め、畦畔では雑草の穂が出ないように管理しましょう。

## 乾田直播栽培

### (1) 生育状況

苗立数は、ひとめぼれが 83.5 本/m<sup>2</sup>、ササニシキが 143.7 本/m<sup>2</sup>でした。6 月 10 日の生育調査では茎数がひとめぼれは 251.1 本/m<sup>2</sup>、ササニシキは 320.1 本/m<sup>2</sup>となっており、苗立数がやや少なかったひとめぼれでも順調に茎数が増加しており、茎数は概ね確保されています。

管内では 4 月の天候不順で播種作業が遅れたほ場が散見されましたが、4 月下旬以降の高温の影響もあり生育は順調に推移しています。

表 4 6 月 10 日生育調査結果（乾田直播栽培）

品種	地帯	場所	播種日	苗立数 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)		茎数 (本/m <sup>2</sup> )		葉色値 (GM値)	
					本年	前年比 (%)	本年	前年比 (%)	本年	前年差
ササニシキ	仙台湾沿岸	仙台市若林区	4/18	143.7	27.5	106	320.1	111	29.5	-7.5
ひとめぼれ	仙台湾沿岸	仙台市若林区	4/21	83.5	25.5	-	251.1	-	34.9	-

苗立ち数調査：5 月 21 日実施

※乾田直播ひとめぼれのほ場は、今年から調査を開始したため前年値なし。

### (2) 今後の栽培管理

#### ① 雑草防除

- ・水田を見回って雑草の発生状況を確認し、雑草が小さいうちに除草剤を散布しましょう。除草剤の選定に当たっては、雑草の種類や葉齢、使用時期（「ヒエ〇葉期まで」、「稲〇葉期以降」等）を確認し、適正に使用しましょう。

## ②水管理

- ・分げつを促進するため、水深2～3cmの浅水管理とします。
- ・低温（平均気温が概ね14℃以下）の時は、水深5～6cmの深水としましょう。
- ・生育が過剰になると倒伏や病害の発生が懸念されるため、そのような場合は落水管理を検討しましょう。

## 5 東北地方の向こう1か月の天候の見通し（6/6 仙台管区気象台発表）

### 予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。
- 天気は数字の周期で変わり、期間の後半は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

### ■農薬危害防止運動が始まりました（令和6年6月1日から令和6年8月31日まで）

宮城県では、6月から8月にかけて、農作物等の病虫害が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

- ・ラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分に確認しましょう。
- ・散布後には農薬の使用履歴を記帳しましょう。
- ・最新の農薬登録情報は、農林水産省消費安全技術センターのホームページで確認することができます。

次回の稲作情報第3号は、6月20日に実施する生育調査の結果をもとに6月21日頃の発行となります。